

河井継之助記念館開館13周年

『峠 最後のサムライ』映画化記念講演会

河井継之助記念館が、生誕の地である長岡市に開館して13年の月日が経ち、延約16万人の方々が訪れました。2020年には、河井継之助が主人公の司馬遼太郎著「峠」が、『峠 最後のサムライ』と題して映画化されます。今回、河井継之助記念館開館13周年と映画『峠 最後のサムライ』公開を記念し、下記のとおり講演会を行いますので、ぜひご参加ください。

- ・ 日時 令和元年12月8日(日)
午後1時受付開始、1時30分開演(午後4時5分終了予定)
- ・ 会場 長岡グランドホテル2階 悠久の間
- ・ 定員 500名(先着) 入場無料
- ・ 内容
〔第一部〕講演 「河井継之助と“峠”について」

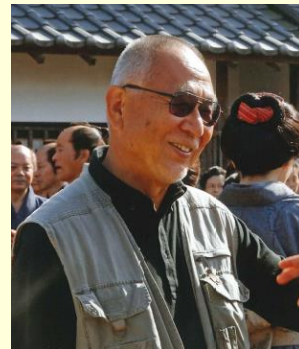
長岡市河井継之助記念館館長 いながわ あきお 稲川 明雄 氏

〔第二部〕特別対談 「峠 最後のサムライ」トークセッション

映画監督 こいずみ たかし 小泉 堯史 氏、キネマ旬報社 まえの ゆういち 前野 裕一 氏

映画監督 こいずみ たかし 小泉 堯史 氏

1944年生まれ、茨城県出身。茨城県立水戸第一高等学校、東京写真短期大学(現・東京工芸大学)写真科、早稲田大学文学部演劇専攻卒。「七人の侍」などの名作を生んだ、黒澤明監督に師事。助監督を務めたほか、28年間にわたって黒澤監督の薫陶を受ける。黒澤監督他界後、その遺作シナリオ「雨あがる」(2000年)を映画化し監督デビュー。同作でベネツィア国際映画祭の緑の獅子賞、日本アカデミー賞で作品賞をはじめ、11部門を受賞。2020年公開予定の『峠 最後のサムライ』で監督を務める。



キネマ旬報社 まえの ゆういち 前野 裕一 氏

1968年生まれ、神奈川県出身。1994年キネマ旬報社に入社。『キネマ旬報』の編集に携わる。小泉堯史監督作品はデビュー作「雨あがる」(2000年)から最新作「峠 最後のサムライ」(2020年予定)まで、すべての小泉作品の撮影現場を取材。ほかに、増刊『黒澤明と木下恵介』『森田芳光組』『高倉健メモリーズ』『アカデミー賞記録辞典』などを編集している。

以下に必要事項を御記入の上、来館またはFAXでお申し込み下さい。(後日整理券を郵送)
電話での申し込みもお受けいたします。電話の際は、氏名・住所・電話番号をお伝えください。

しめい		電話	申込先：河井継之助記念館 〒940-0053 長岡市長町1丁目甲1675-1 TEL:0258(30)1525 FAX:0258(30)1526
氏名		番号	
住所	〒		